

## ◆ 理事候補者（30名）

## 選挙による理事候補者（18名）

	氏名	所属	抱負（日）
1	阿部 なつ江	国立研究開発法人海洋研究開発機構	災害大国日本で不可欠な地球惑星科学の魅力を社会へ伝え、重要性を発信します。理事として人材育成や多様な視点を重視し、国内のみならず国際社会との連携も深めることで、本分野の更なる発展に貢献する所存です。
2	ウォリス サイモン	東京大学理学系研究科	私は、JpGUの国際的なプレゼンスを強化し、世界中のパートナーとの連携を深めることを通じて、JpGUの発展に貢献します。JpGU大会における国際的な参加を促進することは、若手研究者が国際的に活躍するのに必要なネットワーク作りに大きく貢献できると考えています。
3	大谷 栄治	東北大学大学院理学研究科	オープンサイエンスへの取り組みを推進し、表彰制度のさらなる充実、国際誌PEPSの強化、国際化によるJpGUのさらなる発展のために関係する委員会において貢献したいと思います。
4	沖 大幹	東京大学大学院工学系研究科	人間活動も考慮した地球規模水循環の研究をしています。グローバル戦略委員会担当の業務執行理事を二期にわたり務めさせていただきました。機会を頂戴しましたら地球惑星科学研究の推進に微力ながら尽くす所存です。
5	小口 高	東京大学空間情報科学研究センター	これまでの2年間、連合の副会長として活動し、国際交流などへの貢献を試みてまいりました。連合、AGU、EGUの執行部のメンバー等と進めてきた連携を踏まえた活動を、引き続き展開したいと希望しております。
6	小口 千明	東京科学大学	学際的な研究背景を活かし、地球惑星科学の重要性を他分野に広め、持続可能な社会の実現を目指します。また、DEI推進を進め、より良い研究環境、次世代育成、研究の国際化・学際化の推進を考えていきたいと思っています。
7	掛川 武	東北大学	過去に、ジャーナル担当理事、セクションプレジデントや各種委員会の委員を歴任してきた経験を活かして、JpGUの発展に寄与したいと思っています。
8	河宮 未知生	海洋研究開発機構地球環境部門／ 東北大学変動海洋エコシステム高等研究所	現在、副会長として、特にスポンサー制度構築を通じた財政基盤強化に取り組んでいます。また学際性の高い「地球システムモデリング」の分野の研究者として、JpGUの分野横断的な性格を育てていきたいと思っています。
9	後藤 和久	東京大学大学院理学系研究科	私はPEPSのセクション編集長や広報普及委員活動などを続けてきました。今後も、編集・広報活動を中心に地球惑星科学におけるJpGUの国際的存在感を高めるための活動を推進していきたいと思っています。
10	島村 道代	大阪大学学際大学院機構	これまでの「知の創造」に関するAGUとのジョイントセッション複数回の実施で培った研究評価や人材育成・教育改革に関する知見を軸に、学術の社会連携と社会還元への推進を通じJpGUに貢献します。
11	関 華奈子	東京大学先端科学技術研究センター	今期は理事として、JpGUのグローバル戦略委員会と顕彰委員会にかかわらせていただきました。宇宙惑星科学セクションプレジデントの経験も活かし、JpGUの発展に微力ながら尽力したいと存じます。
12	田近 英一	東京大学大学院理学系研究科	地球惑星科学分野全体の学術活動支援とコミュニティの交流活性化、境界領域の拡大、情報発信強化、ジェンダー平等・公平性・包括性等の実現、国際連携、事務局運営の安定化と強化などの諸課題に引き続き取り組みます。
13	辻森 樹	東北大学理学研究科地学専攻	これまでの豊富な海外研究者との交流（国外団体の委員会活動を含む）ならびに多数の学術誌編集経験で培ったネットワークを、連合の発展に資する形で活用していきたいと考えています。
14	成瀬 元	京都大学大学院理学研究科	これまで財務や学生賞運営等の実務を通じ学会運営に貢献してきました。理事として分野横断的な研究と交流を促進し、JpGUの持続的発展に尽力します。
15	道林 克禎	名古屋大学大学院環境学研究科	私はこれまでJpGU総務担当理事として学会運営に携わってきました。来期も経験を生かし、会員に開かれた持続的な学会運営の発展に貢献したいと考えています。
16	宮嶋 敏	埼玉県立熊谷高等学校	地球惑星科学が進展し、社会貢献に資するためには、その基盤となる学校での教科教育の充実、および生涯学習への積極的な啓発が重要です。私は地球惑星科学の進展を教育の側から支援するべく尽力します。
17	村山 泰啓	京都大学附属図書館	JpGUでの情報担当理事、所属大学や学術会議でのオープンサイエンスの議論・推進、AGUや国際学術会議(ISC)等との国際連携を生かして、JpGUとその学術の成長、発展に貢献できればと思います。
18	和田 浩二	千葉工業大学惑星探査研究センター	コロナ禍以降、目まぐるしく変化する大会運営のかじ取りを担ってきました。ようやく落ち着きを取り戻しつつありますが、JpGUの多様性・持続性の維持発展は依然として重要な課題です。皆様のご協力のもと、より良い大会運営、より良いJpGUのあり方を模索していきます。

(50音順)

リーダーシップ推薦による理事候補者（11名）

	氏名	所属	抱負（日）
1	市井 和仁	千葉大学	地球科学分野の分野横断的な連携と国際発信を強化し、JpGUが研究交流と若手育成の場としてさらに発展するよう貢献したい。多様な研究分野をつなぎ、社会に開かれた地球科学コミュニティの形成に努めたい。
2	氏家 由利香	高知大学	私は、分野横断的な研究分野における国際連携を強化し、JpGUにおける学際的協働を推進する所存です。また、学生および若手研究者が主体的に参加し、国際的に活躍できる包摂的な環境づくりに取り組みます。
3	大手 信人	京都大学大学院情報学研究所	陸域生態系の水・物質循環を研究してきました。生態学と地球科学の接点での研究は今後ますます重要です。JpGUを通して野外観測を目指す若い研究者をencourageし、協働できる機会を作りたいと思います。
4	岡崎 裕典	九州大学大学院理学研究院	これまで地球生命科学セクションの幹事とPEPS編集委員を務めてきました。会員の皆様と地球惑星科学コミュニティにとって、JpGUがより良い場となるよう努めます。
5	額 佑衣	名古屋大学大学院環境学研究所	若手の挑戦と活躍を後押しし、成長を支える機会と環境を広げます。また、子育て世代への支援を継続・発展できる仕組みを整え、多様な研究者が安心して参加できる学会運営に努めます。
6	高木 聖子	北海道大学大学院理学研究院	JpGUは、多様な研究者が交流し、学術の深化と革新を生み出す場だと考えます。大会運営委員の経験を活かし、大会が着実に発展し続けられるよう力を尽くす所存です。
7	瀧川 晶	東京大学大学院理学系研究科	JpGUを異分野融合の核としてさらに発展させ、次世代の人材育成や教育を推進することで、地球惑星科学の更なる学術振興と基盤強化に貢献したいと考えています。
8	早川 裕弐	北海道大学地球環境科学研究所	細分化した組織を連結し、研究と社会をつなぐ活動を推進します。フィールドや運動を通じた交流、地球惑星科学の諸分野横断連携、国際化推進により、JpGUが多様なコミュニティの結節点として発展するよう貢献します。
9	松四 雄騎	京都大学防災研究所	地球惑星科学の互助的発展を推進し、環境問題や災害に人類社会がいかに対峙すべきかを模索・討議することで、JpGUが学際的対話や社会接点の場として機能するよう貢献します。
10	南 雅代	名古屋大学宇宙地球環境研究所	地球科学と人文科学を横断する融合研究・教育を推進し、地球惑星科学の発展を目指す。あわせて、これまで培ってきた学会運営の経験を活かし、本学会の持続的発展と次世代を担う若手研究者の育成に尽力する。
11	安中 さやか	東北大学	連合のスケールメリットを活かし、合意形成や、国際交流、異分野連携のハブ機能を支援します。学生リクルートやアウトリーチを含め、すべての会員が「参加してよかった」と思える機会の提供を目指します。

(50音順)

外部理事候補者（1名）

1	鈴木 善和	弁護士（プラタナス法律事務所）
---	-------	-----------------

◆ 監事候補者（3名）

1	春山 成子	三重大学名誉教授
2	星 博幸	愛知教育大学自然科学系
3	甲良 好夫	公認会計士・税理士

(外部監事)

(50音順)